

地域交流牧全国連絡会 令和5年度全国研修会 概要

令和5年8月2日時点

1. 目的：

全国的なネットワークを一層強固なものとするため、全国の会員がリアルに会して相互研鑽を行いポストコロナを見据えた交流活動を考える機会とする。

また東京電力福島第一原子力発電所の事故からの福島県酪農の復興状況や過去の様々な苦境を乗り越えた事例を学び、昨今の急激な社会情勢の変化に起因した酪農経営危機を乗り越えるヒントを、全国の会員との交流を通じて見出し、次世代へ繋ぐ酪農の明るい未来を切り開く機会とする。

2. 主催：地域交流牧場全国連絡会

3. 後援（予定）：東北生乳販売農業協同組合連合会、（一社）中央酪農会議

4. 開催日：令和5年10月3日（火）～4日（水）

5. 開催場所：

1日目：東京第一ホテル新白河（福島県西白河郡西郷村字道南東7）※宿泊場所

2日目：小沢牧場、雪割牧場、金子牧場

6. 参集範囲：地域交流牧場全国連絡会会員、酪農家、行政関係者、酪農関係者

7. プログラム（予定）：

別紙のとおり

8. 参加費（予定）：

(1) 本会会員 15,000円

(2) 本会会員以外（酪農家、酪農関係者・行政関係者等） 17,000円

※プログラム毎の参加費は以下のとおりです。一部のみの参加者には、こちらの金額を請求させていただきます。請求後、振り込みをお願いします。

項目	1日目			2日目	合計
	研修会	交流会	宿泊(朝食付)	視察 (昼食含)	
会員	0	7,000	7,000	1,000	15,000
会員外	1,000	7,000	7,000	2,000	17,000

※宿泊費用については、事務局で手配（東京第一ホテル新白河）した場合に徴収させていただきます。

9. 申込締切日：令和5年8月31日（木）

10. 今後のスケジュール：

8月31日：申込締め切り

9月上旬：現地参加者へ請求書発行 ※振込期日9月中旬

9月中旬：参加費支払い済みの現地参加者へ最終案内送付

11. その他

(1) 牧場視察は、過去1週間以内に海外から入国された方は参加できません。

(2) 基調報告・講演及び活動報告については、後日、WEB配信する予定です。

全国研修会のプログラム

【1日目・10月3日（火）】*於：東京第一ホテル新白河（交通手段等は別紙参照）

時間	内容	場所
13:00～13:30	受付 ※昼食は各自済ませてください。	2階 「富士」前
13:30～13:40	開会・挨拶	後日、 WEB 配信予定 2階 「富士」
13:40～14:30 (50分)	基調報告 テーマ：「原発事故からの復興～福島県の酪農の今について」 (仮) 報告者：福島県酪農業協同組合 元常務理事 岡正宏氏	
14:30～15:20 (50分)	基調講演 テーマ：「逆境が創造の原点～酪農危機を乗り越える～」 (仮) 講 師：岩手県葛巻町前町長 中村哲雄氏	
15:20～15:35	休憩	
15:35～16:05 (30分)	活動報告1 内 容：「地元の架け橋になる～チーズ作りを通じた6次化の実現」 (仮) 報告者：南相馬市 柚原友和津氏	
16:05～16:35 (30分)	活動報告2 内 容：「高校生が行う震災復興支援モーモースクールの活動」 (仮) 報告者：宮城県加美農業高校 教諭 山田陽一氏	
16:35～17:30 (55分)	<u>意見交換会</u> テーマ：危機を乗り越える	
18:00～20:00 (120分)	<u>交流会</u>	3階 「孔雀」

【2日目・10月4日（水）】※ホテルからバスで移動

時間	内容
8:00～14:30	ホテル⇒小沢牧場⇒雪割牧場⇒金子牧場（昼食）⇒東北新幹線新白河駅（解散）